



楽しい催し、深まる交流！

第1回交流メッセ・つやま 9月2日、3日
コミュニティセンター「あいあい」

市内や周辺の町の市民活動団体や行政が集まり、おたがいの理解と交流を深める催しが行われました。

1日目は「協働で築く新しい市民社会」をテーマに交流シンポジウムを開催。約200人が参加し、熱心な意見交換が行われました。2日目はステージや屋台村、ちびっ子ふれあいコーナーなどが開設。会場は終始多くの家族連れでにぎわっていました。



きれいになった私たちの道路

道路清掃

8月27日 市内幹線道路ほか

8月の「道路ふれあい月間」にちなんで、旧津山地域の幹線道路を地域住民や関係団体、ボランティア約1,000人が清掃。

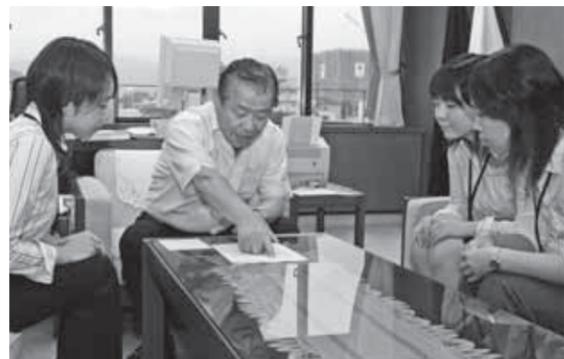


約6トンのごみを回収しました。

また、勝北地域では中学生が地域のみなさんといっしょに地区奉仕活動を実施。中学生は集まったごみの仕分けや空き缶の水洗いもしていました。



市長の仕事ってたいへんですね。



市長インターンシップ

8月29日～9月11日

開かれた市政の一環として、学生が市長に同行して市長の仕事や政策内容について学習するインターンシップを実施しました。今回実習に参加した学生は、市内出身の安田理加さん（立命館大学2年）、稲毛彩さん（美作大学2年）、竹田多真実さん（同）の3人。実習生は、市長や副市長に同行し、式典や会議に出席するなど市の業務や政策内容について身近に学びました。学生の感想を含めた実習日誌はホームページで公開しています。

津山の未来を描こう！

地域にエールシンポジウム

8月26日 グリーンヒルズ津山リージョンセンター

津山市のまちづくりを考えるシンポジウムが「語ろう 津山の未来」をテーマに行われました。

桑山市長の「しあわせ大国つやまの実現を目指して」と題した基調講演に続いて、各団体で活躍する4人の市民パネリストや美作県民局長も交えてシンポジウムを開催。津山の未来についてそれぞれの立場から意見や提言が出されました。約300人が訪れた会場からも高校生の発言があるなど活発な会となりました。



今月のフラッシュ

満員の観客を子どもたちが魅了！

子どもミュージカル ジャパニーズオズの魔法使い

8月26日 勝北文化センター

幻想的な影絵とオーケストラの音楽をバックに、子どもたちがミュージカルを熱演。約500人の観客で満員となった会場は感動で包まれました。

割れんばかりの拍手で幕が下りると、子どもたちは達成感でいっぱい笑顔に。子どもミュージカルには5回目の出演で、今回ライオン役を演じた高務智帆さん（新野小学校6年）は「緊張しましたが、力いっぱい練習の成果を出せました。これからもミュージカルにかかわりたいです」と感想を話してくれました。

